

令和7年度 熊本大学病院群

卒後臨床研修プログラム

創造する森 挑戦する炎

井上雄彦 記す 

 Kumamoto University



● センター長挨拶



熊本大学病院
副院長(医療教育・研修担当)
総合臨床研修センター長

坂上 拓郎

来年春から研修医としての新たな扉を開ける皆さん、どのプログラムに応募するか迷っていることと思います。熊本大学では関連施設と連携して熊本大学病院群をつくり、魅力ある研修システムを提供して参りました。この制度の基本理念は、**1)基本的診療能力の確実な修得、2)地域の医療を担う意欲と使命感、3)基礎と臨床の有機的連携による研究マインドの涵養、4)多面的な評価システムの確立、5)医学教育の充実と指導體制の強化**、の5項目ですが、この研修制度はいずれの理念をも達成することのできる優れたプログラムとして、高く評価されてきました。2020年度からは内科、救急医療、外科、産婦人科、小児科、精神科の6診療科と、地域医療および一般外来を「必修分野」と設定しており、当プログラムでは2年間で幅広い十分な知識と臨床技能が身に着くよう、斬新かつ柔軟な内容となっています。令和4年度募集から、従来の4つに分かれていたコースを修正し、「**自由設計コース**」として新設しました。このコースの特徴は、極めて自由度が高く、**個々の希望に合わせた研修病院(3つまで可)・研修期間・診療科の選択**が可能となっている点です。また、従来通りの総合診療・地域医療特化コース、周産期特化・

小児科特化コースも設けています。さらには、研修医・学生の皆さんの希望を取り入れて、**他科ローテート中の救急研修を可能にし、住居手当を含めた待遇の改善**を図りました。また、数多くの**研修医向けカンファレンスやWebレクチャーの充実**は、他のプログラムでは経験できない貴重な学習の機会となることに間違いありません。

初期臨床研修の2年間は医師としての基本を形成する最も重要な時期であり、同時にその後の専門医を目指した臨床研修につながる確固とした基盤を築く時でもあります。熊本大学初期研修プログラムは、柴三郎プログラムを含めたClinician Scientistへの道を考えている皆さんにとっても、十分満足いただけるものと確信しております。それぞれの目標達成のために我々は最大限のサポートを行いますので、是非このプログラムに応募していただければと思います。

● スタッフ紹介



総合臨床研修センター
副センター長

吉田 素文

医師の学びは、先達や他職種の支援によるself-developmentです。臨床の専門領域を問わず、研究、行政や他の職種も同様です。裏を返せば、どのレベルの医師も後進や他職種の学びを支援し、この支援を通じてself-developmentを続けています。研修医の先生方にも、後進や他職種の学びを支援する機会を提供し、self-developmentをサポートして参りたいと存じます。



総合臨床研修センター
副センター長

吉田 直矢

「face to face」、「共に成長する」をモットーに取り組んでいます。臨床だけでなく毎週の茶話会、英会話企画、レクリエーション等を行い、熊大で研修して本当に良かった、とても面倒をみてくれたと感じてもらえるよう努めています。最先端からcommon disease、救急まで広く深く学べる熊大の新システム、皆様のご参加をお待ちしています。



総合臨床研修センター
副センター長

柿添 豊

本院の初期研修プログラムは、自由設計コースの設立、救急研修の充実、処遇改善、トレーニング施設の充実など、近年多くの面で改善しています。今後も皆様の声を反映し、よりよいプログラムに変えていきたいと思っております。私達スタッフもしっかりサポートします。お待ちしております！



総合臨床研修センター
専任教員

尾池 史

私は、自分の専門である心臓超音波検査を通して、研修医の先生方の臨床スキルアップに貢献できる企画を検討しています。皆様と共に成長できるように取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

● プログラム説明

● 個々のニーズに応えるプログラム

本院では令和4年度より自由設計コースを新設し、皆様のニーズに合わせた自由度の高い研修プログラムを組むことが可能となりました。大学病院と地域医療研修に加えて、最大3箇所まで協力型研修病院・施設での研修を行うことができます。また、総合診療・地域医療特化コースや周産期特化・小児科特化コースといった特徴あるコースを設けています。

よ り よ い 研 修 の た め に

自由設計コース

熊大病院及び地域医療研修先病院を除き3病院まで研修可能！
自分のニーズに合うようにローテートを組んで研修することができます。

ニーズに応えます！

救急部における救急研修

希望者を対象に、熊本大学病院の救急部(救急外来)において準夜帯(17:15~22:00)の救急研修を実施。

処遇の改善

- 協力型研修病院・施設で3ヶ月以上研修する場合は研修先での雇用・給与基準を適用
- 住居手当の支給開始

処遇を改善します！

低侵襲医療トレーニングセンター 遠隔診療トレーニングセンターの設置

初期研修医を対象にトレーニングを実施

最新設備で学べます！

● 各プログラムのローテーションパターン (カッコ内は必修研修期間：週)

- ※必修分野：内科(24週)、救急部門(12週以上)、外科・小児科・産婦人科・精神科(各4週以上)
- ※地域医療研修は2年目に指定の地域医療研修施設で実施
- ※いずれのコースも4週以上の外来研修を含む

プログラム自由設計コース

24ヶ月

熊本大学病院12ヶ月以上+協力病院・施設(0ヶ月~最長12ヶ月) 自由選択
内科(24週以上)、救急部門(12週以上)、外科・小児科・産婦人科・精神科(各4週以上)、地域医療(4週以上)、選択

- ※救急部門は同一施設でのブロック研修(12週以上(うち麻酔科研修は4週まで可))を行う。
- ※1つの協力病院での研修期間は3ヶ月以上(地域医療研修および必修単科(産婦人科・精神科)病院、その他研修協力施設は1ヶ月でも可)。
- ※研修先(協力病院・施設)の数は、熊本大学病院・地域医療研修先を除き3病院まで。

プログラム総合診療・地域医療特化コース

24ヶ月

熊本大学病院	指定協力型臨床研修病院
内科(24週以上)、救急部門(12週以上)、総合診療科(もしくは総合内科)(12週以上)、外科・小児科・産婦人科・精神科(各4週以上)、地域医療(12週以上)、選択	

プログラム周産期特化・小児科特化コース

(1) 小児科を選択する場合

24ヶ月

熊本大学病院
内科(24週以上)、救急部門(12週以上)、外科・産婦人科・精神科(各4週以上)、小児科(40週以上)、地域医療(4週以上)、選択

(2) 産婦人科を選択する場合

24ヶ月

熊本大学病院
内科(24週以上)、救急部門(12週以上)、外科・小児科・精神科(各4週以上)、産婦人科(40週以上)、地域医療(4週以上)、選択

ローテーションの例



令和4年度プログラム修了

村井 翔一

医師としての最初の一步を踏み出す

2024年3月初期臨床研修修了の村井翔一と申します。

突然ですが、学生の皆さんはどんな医師になりたいですか？臨床の最前線で働きたい人、地域に根ざした医療をやりたい人、研究も頑張りたい人、まだ全然決まっていない人、さまざまと思います。皆さんはこれまで、主に医学的知識の修得に励んでこられたと思いますが、学生を卒業するとその知識を活用して医業を「仕事」にすることになります。どの診療科に進んでも、どの地域で医師をするにしても、基本的な仕事のやり方というものが存在します。2年間の初期臨床研修は、医師の基本的な仕事のやり方を修得し、磨き始める場です。

熊本大学病院での初期臨床研修では、各診療科の研修をいつ、どの病院で、どの期間やるかを自分で決めることができます。大学病院、市中病院、各地域の中核病院、熊本県外の多くの病院、どの研修施設でも充実したサポートを受けられ、研修医が輝ける環境があります。前述の基本的な仕事のやり方の修得はもちろん、様々な働き方、地域／病院の特性などに触れ、幅広い視点を持った医師になれます。そんな環境で医師の最初の一步を踏み出してみませんか。是非ご一考頂ければ幸いです。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	血液・膠原病・感染症内科(必)	小児科(必)	産科・婦人科(必)	循環器内科(必)	中央検査部	神経精神科(必)	呼吸器外科(必)	皮膚科・形成外科	呼吸器外科	糖尿病・代謝・内分泌内科(必)	荒尾市立有明医療センター	
2年目	荒尾市立有明医療センター(必修救急)		総合診療科(必)	公立多良木病院(地域)	呼吸器外科	新別府病院(救急研修)			画像診断・治療科	病理部	呼吸器外科	



令和4年度プログラム修了

山本 美沙里

次のステップにつながる研修

みなさんはどのような初期研修の2年間をイメージしていますか？熊本大学病院ではより自身のイメージに近い2年間を送れるのではないかと思います。

当院の研修プログラムの一番の魅力は、やはり自由度の高さだと思います。私は大学入学当初より眼科に進むことを決めており、初期研修のうちから眼科に深くかかわることを目標としていました。当院の自由設計コースでは10カ月間が自由選択期間として設けられているため、他科での研修を一通り終え、残りの10か月間をすべて眼科研修にあてました。また、必修の内科選択においても、眼科と関わりが深い診療科を中心に選択し研修を行いました。初期研修医としての基礎的な知識・手技を学びながら、眼科について専門的な知識を身につけるというイメージ通りの2年間を過ごすことができたと思います。

当院の自由設計コースでは、最大3施設までたすき掛け研修先を選択することも大きな魅力の一つだと思います。また、診療科研修と並行しながら準夜帯の救急研修を行うことも可能です。当院では、進路に悩んでいる！救急を頑張りたい！研究も頑張りたい！など様々なニーズに合ったそれぞれの研修を行うことができます。ぜひ熊本大学病院で自分の理想の2年間を過ごしてください。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	糖尿病・代謝・内分泌内科(必)	呼吸器内科(必)	救急部(必)	麻酔科(必)	産科・婦人科(必)	脳神経内科(必)	血液・膠原病・感染症内科(必)	小児科(必)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科(必)	脳神経内科(必)		
2年目	神経精神科(必)	植木病院(地域)眼科	眼科									



令和5年度プログラム

西 隆寛

たすきかけシステムで幅広くかつ深く

学生時代から臨床医学・基礎医学の両方に興味を持っていました。市中病院で一般的な診療・救急を、大学病院で専門的な診療・研究を学習できる熊本病院プログラムを選択しました。

1年次に国立病院機構熊本医療センターに出向し、2年次に熊本病院に帰還するローテーションを組みました。熊本医療センターで最も印象的であったのは救命救急科です。開胸心臓マッサージ、自死遺族対応を含む精神科救急が特に印象に残っています。大学病院ではこれまで病理部、産科婦人科をローテーションしました。熊本病院でしかできない非常に高度で専門的な研修ができました。

熊本病院プログラムを選択すると、層の厚い指導者の元で医学・医療をどこまでも追求できます。たすきかけシステムを使用すると、診療内容・経験値・医療連携の幅を広げることが可能です。幅広くかつ深く学習したい医学生の皆さんには、熊本病院での研修がおすすめです。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	国立病院機構熊本医療センター											
2年目	病理部	産科・婦人科(必)	脳神経内科	公立多良木病院(地域)	呼吸器内科	血液・膠原病・感染症内科	腎臓内科	糖尿病・代謝・内分泌内科	循環器内科	消化器内科	法医学講座	緩和ケアセンター



令和5年度プログラム

平田 香子

(柴三郎プログラム)

基礎系への道を求めて

私は法医学へ進むと決めています。それには博士号が必要です。熊本大学には柴三郎プログラムという、大学病院で初期臨床研修をしながら大学院生として単位取得でき、初期研修修了後、最短2年で学位取得できるシステムがあります。しかも初期研修中の2年間は授業料と同額の奨学金を受けられます。という訳で、私は熊本病院プログラムを選択しました。

自由設計コースの名の通り、ローテーションは私の都合で自由に設計しました。例年6月の法医学会へ参加できるように、かつ13ヶ月で3カ所の関連病院を回るよう、7月と10月に異動する変則パターンとしました。将来外勤する時のために様々な職場環境への適応力を鍛えたかったのですが、既にいくらか手応えを感じています。

熊本病院は関連病院から研修へ来る人も多く、出会う同期の研修医が多いことも魅力です。仲間の数は情報量、研修環境の充実に繋がります。

基礎系志望の貴方、少数派ゆえ茨の道ですが、挫けず目標を見据えて頑張りましょう。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	呼吸器内科(必)	法医学講座	国立病院機構都城医療センター				天草地域医療センター					
2年目	天草地域医療センター(地域)	神経精神科(必)	法医学講座	くまもと森都総合病院			総合診療科(必)	病理部	画像診断・治療科	循環器内科	糖尿病・代謝・内分泌内科	

● 研修医の日常

出勤



基本は8:30から業務が始まります。

ただし、朝からカンファレンスや回診がある日はもう少し早い時間の出勤になります。

01

手技・トレーニング



研修医の先生も積極的に手技を行うことができます。それぞれの科でできる手技は異なりますが、ルート確保・採血・気管支鏡・胸腔穿刺などなど。もちろん、手技の前には指導医の先生からレクチャーもあるので安心です。

また、臨床研修センターでは様々なシミュレータを使用してスキルの向上が可能です。空いた時間は研修医同士で手技の練習もできます。

病棟業務



基本は専攻医・指導医の先生の下について業務を行います。朝からチーム内で1日の予定を確認します。検査や薬のオーダーなども上の先生に相談しながら行います。

また、病棟では看護師や薬剤師、リハビリの療法士などの職種の方と連携し、チーム医療を実践しています。

02

チームカンファレンス



呼吸器内科では、夕方にもチームでカンファレンスを行います。その日に生じた疑問や治療の相談をその日のうちに解決でき、次の日からの検査や治療をスムーズに行うことができます。

06

カンファレンス・病棟回診



カンファレンスでは受け持ちの患者さんの状態について教授や指導医の先生にプレゼンを行います。今後の治療についての相談やアドバイスを頂ける場です。また、プレゼンの指導もありますので安心してカンファレンスで発表できます。

回診では研修医もベットサイドでディスカッションを行うことがあります。

03

救急外来研修 (希望制で月に1~4回)



研修医の救急外来研修は準夜帯(17:15~22:00)で行います。基本は研修医がファーストタッチを行います。必要な時は救急の先生も後ろから指導をしてくれます。空いた時間で手技の練習もできます。

定期的に救急研修ができるので勉強になる一方、夜勤帯の勤務はないのでローテーションしている科の業務に専念もできます。

07

昼食



病院内にある食堂やパン屋さんで食べることもできますが、病院内にある売店やセブンイレブンで買ってきて研修医室に集まって食べることも多いです。

研修医室では研修医しかいないのであんな話やこんな話もできます！

04

業務完了



カルテの入力や次の日の準備ができたなら業務終了です。飲み屋も近くにたくさんあるので、救急外来の勤務がない日は同期で飲みに行くこともあります！

08

● 各種講習会



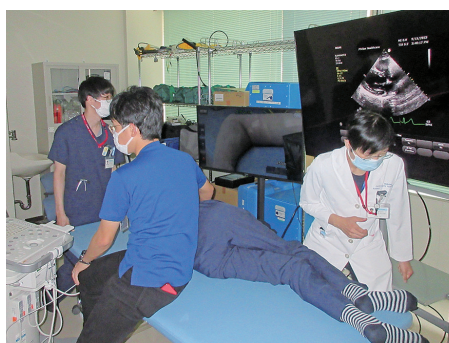
ロボット手術トレーニング



CVC講習会



輸液セミナー



FoCUS講習会



BLS講習会



生涯教育・研修医セミナー

● Q&A



ローテートはいつ決めますか？



研修開始前年の12月頃に「希望調査票」を御提出いただき、1月を目処に2年間のローテートを作成します。2年目のローテートについては仮決定となり、研修1年目の10月頃に再調査をします。



研修が始まってからローテート診療科を変更できますか？



熊大病院研修中は、該当する診療科での研修が始まる1ヶ月前までは変更できます。他病院での研修中は、その病院の規定によります。



協力病院・施設はいくつ研修することが出来ますか？



熊大病院と地域医療研修先病院を除き3病院・施設で研修可能です。ただし、12ヶ月は熊大病院で研修していただく必要があります。(地域医療研修の期間も含む。)



協力病院・施設はいつ決めますか？



熊大の診療科を決定する時と基本は同じです。1年目に回る病院については研修開始前に決定してもらいます。2年目に回る病院については、1年目の10月に改めて再調査をし、受入が可能な病院であればローテート先の病院を変更することが可能です。



3ヶ月以上協力病院・施設で研修する時に研修先病院・施設での雇用・給与基準を適用するとありますが、これはどういうことですか？



3ヶ月以上協力病院・施設で研修する際には、研修先病院での雇用となり、研修先病院の給与基準で給与が支払われます。

● 研修医の処遇

身分	医員（研修医）として雇用
給与	月額約 300,000 円（日給 9,180 円 + 臨床研修必修化手当 日額 5,500 円） *上記額から、雇用保険料、社会保険料及び所得税が控除される。 *臨床研修必修化手当は、臨床研修に従事した日 1 日につき支給される。
通勤手当	通勤距離が片道 2km 以上の場合から支給される（手当額は、距離・方法により異なる）
住居手当	家賃に応じた額を支給（最大 28,000 円）
勤務時間	8：30～17：15 土日・祝祭日休み
休暇	年次有給休暇・夏季休暇・夏季一斉休業（その他、忌引き、産休等あり）
宿舎	なし
社会保険など	国家公務員共済組合、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
医師賠償責任保険	大学で加入（2 年間の初期研修期間は協力病院での研修時も、保険が適用される）
健康管理	定期的な職員健康診断等を実施
教育	医学系契約サイト無料閲覧可（UpToDate、PubMed、電子ジャーナル等）
学術活動	研修の妨げにならない範囲で学会等参加可能 各診療科の学会に参加することも可能です。（費用の負担については個別対応）
設備	研修医室、共用 PC（医療端末、インターネット端末）、院内 Wi-Fi 環境設備、個人机、ロッカー、ソファ、シャワー室、仮眠室、白衣支給

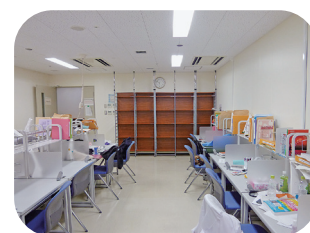
● 病院概要

熊本大学病院では平成28年に新臨床研究棟が完成し、現在は屋外環境整備工事を行っており、新しい環境での研修が可能です。IT設備も整い、院内では資料を持ち歩かなくても医療用システムを介して診療状況が把握でき、研修中のデータ管理にも役立っています。また、個人用の無線LAN環境が配備され、UpToDate® 等の最新の医療情報に自身の情報端末からアクセスでき、教育環境の向上にも役立っています。

- 病床数：845床
- 医師数(研修医を除く)：684名（うち臨床研修指導医数：155名）
- 1日平均外来患者数：1473名
- 1日平均入院患者数：731名
- 医療機関の承認・指定状況（承認・指定等年月日）
臨床修練指定病院（昭和63年3月29日）
特定機能病院（平成6年12月1日）
都道府県がん診療連携拠点病院（平成18年8月24日）
エイズ治療中核拠点病院（平成19年7月11日）
熊本県基幹型認知症疾患医療センター（平成21年5月1日）
熊本県肝疾患診療連携拠点病院（平成21年5月13日）
（財）日本医療機能評価機構病院機能評価認定（平成21年6月5日）
熊本県総合周産期母子医療センター（平成23年3月22日）



病院外観



研修医室（個別机・ロッカー完備）

熊本大学病院群参加施設一覧

協力型臨床研修病院(61病院)

〈熊本県〉

●熊本市内

- 1 国立病院機構熊本医療センター
- 2 熊本市民病院
- 3 熊本赤十字病院
- 4 済生会熊本病院
- 5 熊本中央病院
- 6 熊本地域医療センター
- 7 くまもと森都総合病院
- 8 熊本市立植木病院
- 9 福田病院
- 10 熊本機能病院
- 11 西日本病院
- 12 青磁野リハビリテーション病院
- 13 大腸肛門病センター高野病院
- 14 くまもと青明病院
- 15 鶴田病院(※)
- 16 桜が丘病院(※)
- 17 森病院

●熊本市外

- 18 国立病院機構熊本南病院
- 19 荒尾市立有明医療センター
- 20 くまもと県北病院
- 21 山鹿市民医療センター
- 22 国立病院機構熊本再春医療センター
- 23 労働者健康安全機構熊本労災病院
- 24 地域医療機能推進機構熊本総合病院
- 25 国保水俣市立総合医療センター
- 26 地域医療機能推進機構人吉医療センター
- 27 球磨郡公立多良木病院
- 28 天草地域医療センター
- 29 地域医療機能推進機構天草中央総合病院
- 30 荒尾こころの郷病院(※)
- 31 山都町包括医療センターそよう病院
- 32 宇城総合病院
- 33 和水町立病院
- 34 川口病院
- 35 菊池郡市医師会立病院
- 36 阿蘇医療センター
- 37 小国公立病院
- 38 阿蘇温泉病院
- 39 阿蘇やまなみ病院
- 40 上天草総合病院
- 41 益城病院
- 42 希望ヶ丘病院
- 43 国立病院機構菊池病院
- 44 菊池有働病院
- 45 菊陽病院
- 46 平成病院
- 47 八代更生病院
- 48 みずほ病院
- 49 人吉こころのホスピタル
- 50 天草病院
- 51 酒井病院

〈山口県〉

- 1 地域医療機能推進機構下関医療センター

〈福岡県〉

- 2 大牟田天領病院
- 3 北九州総合病院
- 4 福岡徳洲会病院

〈大分県〉

- 5 新別府病院

〈宮崎県〉

- 6 宮崎県立延岡病院
- 7 国立病院機構都城医療センター
- 8 高千穂町国民健康保険病院
- 9 五ヶ瀬町国民健康保険病院
- 10 吉田病院

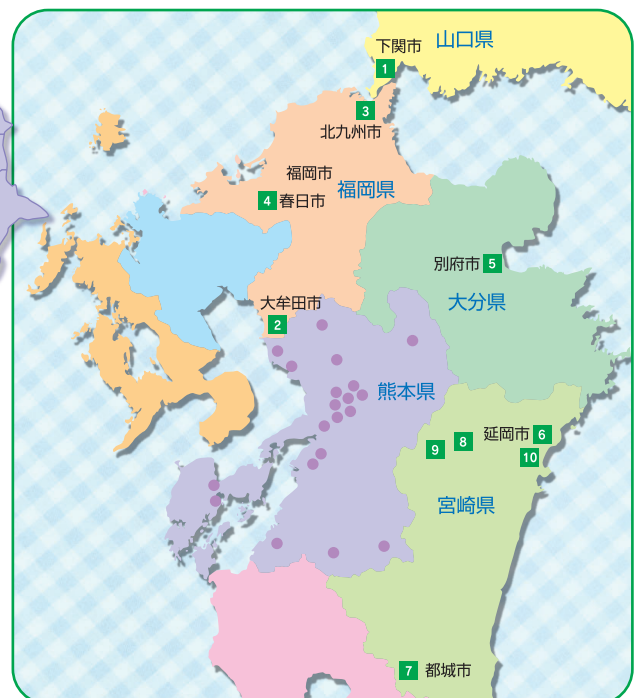
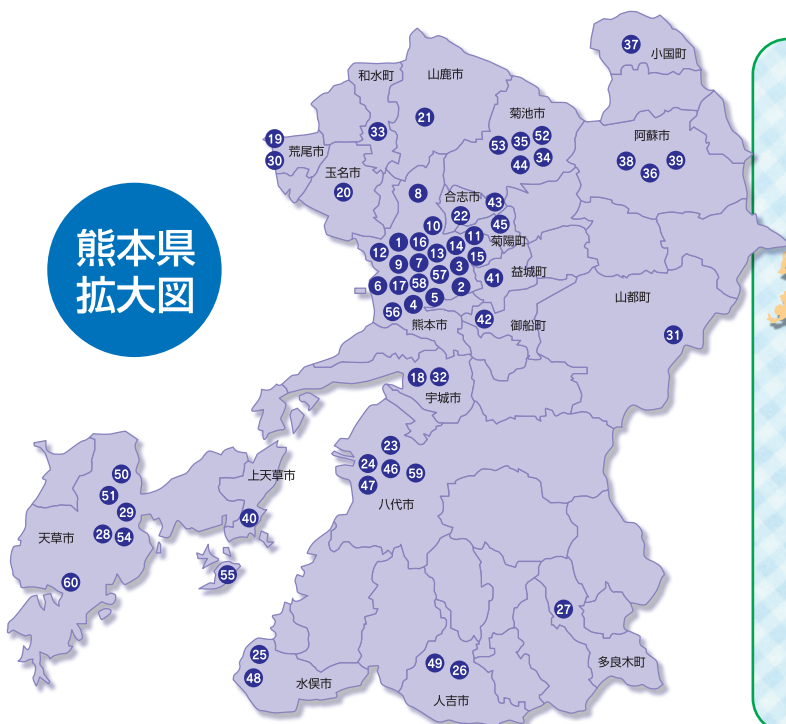
研修協力施設(9施設)

- 52 宮本内科クリニック
- 53 たがみクリニック
- 54 天草地域健診センター
- 55 天草市立御所浦診療所
- 56 あげぼのクリニック
- 57 熊本ホームケアクリニック
- 58 ひまわり在宅クリニック
- 59 地域医療機能推進機構熊本総合病院附属クリニック
- 60 国民健康保険天草市立河浦病院

※令和7年度プログラム不参加

※令和6年5月時点での予定であり、変更となる可能性があります。

熊本県 拡大図



● 将来のキャリア形成につながるプログラム

初期研修で将来の目的を見つけ探求心を持つことが、医師としてのキャリア形成にはとても重要です。九州出身者を中心に多くの研修医が研鑽し、初期臨床研修を通じて3年目の進路を見出しています。初期臨床研修から専門研修へのつながりもスムーズな熊本大学病院群プログラムで視野を広げ、将来につながる研修を目指してください。

令和7年度 卒業臨床研修プログラム研修可能診療科(部)・専門研修プログラム名一覧

No.	卒業臨床研修プログラム 研修可能診療科(部)名	専門研修プログラム名
1	呼吸器内科	熊本大学病院内科専門医研修プログラム
2	消化器内科	
3	血液・膠原病・感染症内科	
4	腎臓内科	
5	糖尿病・代謝・内分泌内科	
6	循環器内科	
7	脳神経内科	
8	心臓血管外科	熊本外科専門研修プログラム
9	呼吸器外科	
10	消化器外科	
11	乳腺・内分泌外科	
12	小児外科・移植外科	
13	小児科	熊本大学小児科専門研修プログラム
14	産科・婦人科	熊本大学産婦人科研修プログラム
15	神経精神科	熊本大学病院連携施設精神科専門医研修プログラム
16	皮膚科	熊本大学皮膚科研修プログラム
17	眼科	熊本大学眼科専門研修プログラム
18	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	熊本大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門研修プログラム
19	泌尿器科	熊本大学泌尿器科専門研修プログラム
20	整形外科	熊本大学整形外科専門研修プログラム
21	脳神経外科	熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座プログラム
22	救急部	熊本大学病院救急科専門研修プログラム
23	麻酔科	熊本大学麻酔科専門医研修プログラム
24	画像診断・治療科	熊本大学病院放射線科専門研修プログラム
25	放射線治療科	
26	病理部	熊本大学を基幹施設とする病理専門医研修プログラム
27	中央検査部	熊本大学臨床検査専門研修プログラム
28	形成外科	熊本大学病院形成外科専門研修プログラム
29	リハビリテーション部	熊本大学リハビリテーション科専門研修プログラム
30	総合診療科(地域医療・総合診療実践学寄附講座)	熊本大学総合診療専門研修プログラム
31	集中治療部	—
32	緩和ケアセンター	—
33	法医学講座	—

※令和6年5月時点での予定であり、変更となる可能性があります。



Kumamoto University



熊本大学キャラクターイラストコンテスト
最優秀賞 受賞作品「あなたを応援！ 未来を応援！」

熊本大学病院

総合臨床研修センター

● 問い合わせ先

熊本大学病院総合臨床研修センター

〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号
Tel. 096-373-5689・5994(直通)
Fax. 096-373-5952
E-mail : iys-kensyu@jimu.kumamoto-u.ac.jp
<http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/rinsyokensyu/>

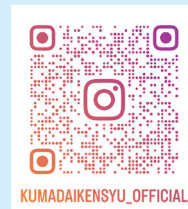


研修センターのウェブサイトにはマッチングや研修に関する情報を多数掲載しています。研修に必要な書式やイベントの情報も逐次UPしています。今後のスケジュール確認のためにも是非一度閲覧してみてください。



創造の森 挑戦する炎

熊大スピリットを伝える言葉として「創造する森 挑戦する炎」をつくり、かつて本学に在籍された漫画家・井上雄彦氏に揮毫していただきました。



KUMADAIKENSYU_OFFICIAL

